

## トルコの新型コロナウイルス感染症の状況 (7)

3月10日に初めての新型コロナウイルス感染症の症例が報告されたトルコでは、5月に一旦感染の収束傾向が見られ、6月第1週以降は「ニューノーマルのルール」に準拠することを条件に経済活動や国内外への移動等の規制を緩和した。しかし、諸外国同様、経済活動再開に伴い、感染は拡大傾向にある。

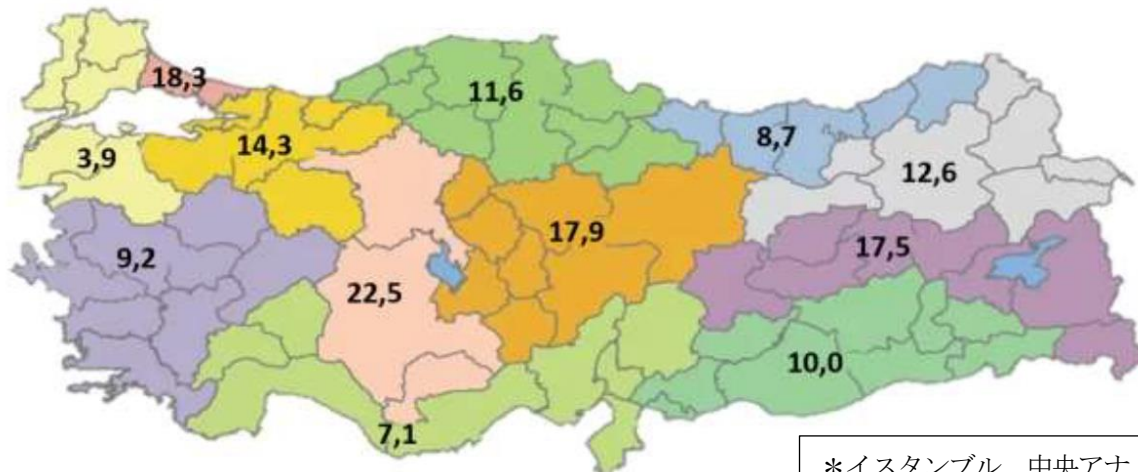
トルコでは9月に第1波の第2ピークが到来、10/2には1日あたりの発症者数が1,500人を超え、10/19には再び2,000人を超えた。1日あたりの死者数も一時期は20人未満までにおさえていたが、9/4日以降は50名以上となっている。他国と比較すると、感染者数は世界第21番目、死者数は19番目に多い。

10/19現在、トルコでは、検査数累計12,524,561(116,249/日)、発症者数累計349,519人(2,026人/日)、死者数累計6,999人(48人/日)、快復者数累計257,731人(1,207人/日)、重症者数1,241人で、発症者のうち肺炎罹患率は5.6%である。10/19現在の病床使用率は48.1%、ICU使用率は65.2%、人工呼吸器使用率は32.1%となっている。(9/30にトルコ保健相は毎日発表している発症者数/患者数には無症状の陽性者の数を含まないことを明らかにしたため、国内外より非難を受けた。保健省は10月より、医療機関の状況の数値発表を開始。)

トルコ国内では9/7より住居以外でのマスク着用義務、公共交通機関の乗員制限、10/15よりトルコ全国において、人が大勢集まる公共交通機関、飲食店、ショッピングモール、市場、公園やコンサートホール等における清掃、マスク着用、身体的距離、HESコード(県外移動の際の届け出)取得等の取り締まりを強化した。

トルコでは10月以降、オンライン教育を併用しつつ、対面教育を段階的に再開している。また、海外からの渡航者を積極的に受け入れている。感染拡大予防策としては、イスタンブール新空港での検査体制の拡充、国内及び国際協力によるワクチンの開発を進めており、治験も積極的に行っている。尚、ターキッシュエアラインズは10月以降、羽田便を週2便から週3便に増便して運航している。

10万人当たりの地方別新型コロナウイルス新規感染者数(10/5~11)



\*イスタンブール、中央アナトリア、南東部で増加傾向。  
(出所：トルコ保健省 HP)